



富谷市立東向陽台中学校だより

公孫樹 前進 グローカル 友と共に前へ

R7.1.10 (金) No.13

自立・協働・創造

文責：教頭 高橋



本年もよろしくお祈りします

2025年が始まりました。正月三が日は天候にも恵まれ、気持ちよく新年を迎えることができたのではないのでしょうか。

全国的に感染症の広がりが報じられています。受験シーズンに入り、体調管理に気をつかうこの頃です。手洗い、うがいを励行し、体調不良時は早めの休養を心掛けて乗り切りたいと思います

冬休み明けの全校集会で、高橋校長は冬休みの宿題の取組を例に挙げ「取り組む姿勢によって同じ宿題でも全く違う物になる。『やらされる』スタイルからの変換が、人生を自ら拓く力につながる」と主体的な取組がもたらす成果の大きさを話しました。

私たち教職員一同は、今年開校40年目を迎えるに当たり、脱皮しながら成長するへびのように、新鮮な気持ちで教育活動に取り組んでまいります。皆様の御理解と御支援をよろしくお祈りいたします。

全校集会 校長先生の話

「新年のスタートは自分を変えるきっかけの時」 令和7年1月8日(水)

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

2025年が始まるとともに、後期後半が始まりました。昨年は1月1日に震度7を記録した能登半島地震、2日には羽田空港で日本航空機と海上保安庁の航空機の衝突事故と、悲しい出来事がありました。3.11の大震災を経験した者としては地震で倒れた家屋や火事の惨状を見てとても苦しく悲しい気持ちになりました。まだまだ復興までの道のりは長いと思いますが、一歩ずつ共に手を取り合いながら進んでほしいと思います。当時私は1学年主任でしたが、もっていた生徒たちに伝えたことがあります。それはたくさん学びなさいということです。物はいつかは壊れてなくなりますが、知識は私たちが生き続けている限り、自分とともにあるからです。うばわれることも、こわれることもありません。ずっと自分のものです。そして、それを生かして自分や大切な人を守ったり、お金をかせいだりしたり、心を豊かにしてくれます。中学校を卒業すると、それぞれ自分の進路を歩んでいきます。幸せに生きていく、生き抜くためにも、もっと積極的に食欲に学んでほしいと思います。



さて、新年にあたり、皆さんは目標を立てるとしています。どんな目標にしますか？私の目標は「主体的に行動する」ということです。

小学校のとき長い休みの後に待っているのは宿題の提出でした。本当に休みあけが憂鬱でした。夏休みは学習帳の他に自由研究や絵日記、作文。冬休みは書写が加わりその全てをラスト一日で仕上げようと苦戦する6年間でした。当然全て仕上げることはできません。皆さんは最初にやる派ですか？それとも私のようにギリギリ派ですか？なぜ私はギリギリ派なのか考えてみると周囲からのやらされ感が強くて、モチベーションが上がらないからだと思いました。前にも行ったと思いますが、知らないことを知ることは楽しいことです。知りたいと主体的な方向に転換すれば、たとえば朝顔の観察日記もいつから朝顔の花の色が分かるのか、葉っぱの成長はいつまで続くのかとか考えながら観察できたのではないかと、書き初めも実は平安時代から続いている長い歴史と伝統があり、それに思いをはせつつ、もっと楽しみながら行えたのではないかと、取り組む姿勢によって同じ宿題をするにしても全く違う物になります。私たちの周りにはやらなければならない仕事や勉強がたくさんあります。どうせやるなら「誰かに命じられたからやる」というスタイルを「自分がやりたいから、知りたいからやる」と変換すると前向きになるだけでなく、何か不都合なことが起きても、人のせいにならず、自分の問題として捉えることができ、自分の人生を自分で歩んでいける人になります。私は自分の行動を自分で決めたいです。そうあり続けたいし、皆さんもそうやってほしいと思います。

新しい年のスタートは、自分を変える大きなきっかけになります。目標の達成を目指して、具体的に行動してください。そして、4月の新たな生活で良いスタートがきれるよう、土台作りをしてほしいと思います。先生方も応援しますので、是非頑張ってください。

以上で終わります。

